

家畜ふん尿の排せつ量

堆肥化を計画的に行う場合、あらかじめ

- ①どの程度の量の原料資材（家畜ふん尿、敷料、副資材等）が発生するのか。
- ②堆肥化の過程でどの程度の減耗（水分の蒸散、有機物の分解等）が見込めるのか。
- ③どの時期にどの程度の堆肥の利用（圃場還元、戻し堆肥等）が見込めるのか。

を十分に考えておく必要がある。

特に、施設整備や機械導入をしようとする場合、この点を十分に検討しておかなければ設備不足や過剰投資を招く恐れがあるので注意する必要がある。

一般に家畜のふん尿の発生量については、その把握が困難なことから、下表のような数値が推定の算出根拠として用いられている。しかし、最近では家畜の大型化や飼料効率の向上などから必ずしもこの数値が当てはまるわけではない。あくまでも参考程度に止めておいた方がよいと思われる。

表1 家畜のふん尿排せつ量 （単位：kg）

畜種	体重	ふん（日・頭羽）			尿 （日・頭羽）	合計 （日・頭羽）	合計 （日・頭羽）	
		乾物量	水分	生重				
乳用牛	搾乳牛 ¹⁾	700kg	7.5 kg	86%	54 kg	17 kg	71 kg	25.6 t
	搾乳牛 ²⁾	700kg	6.8 kg	86%	50 kg	15 kg	65 kg	23.7 t
	搾乳牛 ³⁾	600~700kg	5.7 kg	84%	36 kg	14 kg	50 kg	18.3 t
	乾乳牛	550~650kg	4.2 kg	80%	21 kg	6 kg	27 kg	9.9 t
	育成牛	40~500kg	3.6 kg	78%	16 kg	7 kg	23 kg	8.4 t
肉用牛	2歳未満	200~400kg	3.6 kg	78%	16 kg	7 kg	23 kg	8.4 t
	2歳以上	400~700kg	4.0 kg	78%	18 kg	7 kg	25 kg	9.1 t
	乳用種	250~700kg	3.6 kg	78%	16 kg	7 kg	23 kg	8.4 t
豚	子豚	3~30kg	0.15kg	72%	0.5 kg	1.0 kg	1.5 kg	0.55 t
	豚育豚	30~110kg	0.53kg	72%	1.9 kg	3.8 kg	5.7 kg	2.08 t
	繁殖豚	150~300kg	0.83kg	72%	3.0 kg	7.0 kg	10.0 kg	3.65 t
採卵鶏	雛	—	13 g	70%	43 g	—	43 g	15.7kg
	成鶏 ⁴⁾	—	30 g	70%	100 g	—	100 g	36.5kg
	成鶏 ⁵⁾	—	30 g	60%	75 g	—	75 g	27.4kg
肉鶏	ブロイラー	—	26 g	70%	87 g	—	87 g	31.8kg
	ブロイラー ⁶⁾	—	26 g	40%	43 g	—	43 g	15.7kg

- 注) 1) 生乳生産量が年間10,000kg以上の場合
 2) 生乳生産量が年間10,000kg程度の場合
 3) 生乳生産量が年間7,600kg程度の場合
 4) 低床式鶏舎のふんの場合
 5) 高床式鶏舎のふんの場合
 6) 床暖房式のウィンドレス鶏舎のふんの場合

参考：堆肥化施設設計マニュアル「中央畜産会」